

現在の金貸しの起源とも言える「ヴェネチアの黒い貴族」とは誰なのか？

西暦480年頃に西ローマ帝国が滅びた後、ローマ帝国の一部の貴族がヴェネチアに避難した際に、**特権を享受していた一部のユダヤ人もヴェネチアへ避難し、ヨーロッパの貴族階級に同化**していった。その中で現地人より色が浅黒かったのが「**ヴェネチアの黒い貴族**」と呼ばれるようになる。彼らはキリスト教国家とイスラム教国家の間の地中海貿易を独占していた。そして**黒い貴族は地中海貿易から大西洋貿易に移るためにヴェネチアからオランダへ、さらにイギリスへと移動**していき、**世界初の株式会社であるイギリス東インド会社を設立**する。

以下[リンク](#)より

イエズス会を組織したのはヴェネチアの「黒い貴族」だった
「日本人が知らない「人類支配者」の正体」第二部 太田龍、船井幸雄

(前略)

ヴェネチアというものを日本人はほとんど知りません。非常に間違った形式的な歴史を教えられています。しかし、**ヴェネチア**というのは西暦480年頃に西ローマ帝国が滅びた後、ローマ帝国の貴族の一部が**ヴェネチアに避難してできた**のです。ヴェネチアはイタリア半島の東の奥のほうに位置しますが、そこを基地として避難場所としてローマ帝国の貴族の一部がそこに移動しました。そこから**ヴェネチアがイルミナティの正しい世界首都として成長していくように段取りがつけられた**のです。

(中略)

そして**ヴェネチアが起こした重要な事件**はたくさんありますが、そのうちの一つは11～13世紀に起こった**十字軍戦争**です。十字軍戦争はカトリックのローマ法王庁が旗を振ってエルサレムをイスラムから取り戻すと称して、4回くらい大戦争を起こします。

しかし、カトリックをそういうふう煽動して十字軍戦争を起こすためには、西ヨーロッパから軍隊がエルサレムまで遠征するための**途轍もない多額の軍資金**が必要になるわけです。

それから軍隊を出すために、艦隊を組織しました。そのための**資金は全部、ヴェネチアの「黒い貴族」が用意**しました。用意したといっても、タダでくれるわけではありません。**ローマ法王庁とかフランスや英国とかスペイン、ドイツとかの国々の王侯貴族に軍資金を貸し付けて「利子」を取る**わけです。

そして**ヴェネチアはイスラムにも目をつけます**。それから**ビザンチン、東ローマ帝国の後継者としての東方ギリシア正教をも支配下に入れます**。この三つの地域にヴェネチアは目をつけるのです。

そのような勢力を利用して、**カトリックとイスラムを戦わせ、カトリックと東方ギリシア正教を戦わせ**ます。そして自分たちがそれぞれの地域に軍隊を動員して、十字軍戦争をだんだん大規模なものにしていく。大規模なものにしていくほどヴェネチアの黒い貴族はたくさんのお金を貸し付けて、利子を生み出していきます。だから**十字軍戦争というのは、ヴェネチアの黒い貴族が、最初から最後まで振り付けをしている**わけです。

そういうことが日本人にはまったく知らされていません。

(中略)

「東方見聞録」で有名なマルコ・ポーロも、ヴェネチアの黒い貴族が送り出したエージェントだったのです。

(中略)

大航海時代の背景はポルトガルとかスペインとか英国とかという、**それぞれの国家ではなく、ヴェネチアに浸透する金融寡頭権力**だったのです。そのようにして彼らは**世界支配をさらに進めた**わけです。

そして最後はキリスト教・カトリック教会を大分裂させることでした。1517年、マルチン・ルターがロー

マ法王庁に挑戦して、免罪符を否定する抗議の紙を張り出したら、あっという間に非常にわずかの時間に、全ドイツに広がりました。しかし、そのルターの背後にいたのはヴェネチアの「黒い貴族」だったのです。ルターをヒーローに仕立て上げて、全ヨーロッパ、とくにドイツで、カトリックとカトリックに反対するプロテスタントという勢力が起こり、キリスト教会は真っ二つに分かれるわけです。

そして10～20年後にヴェネチアの「黒い貴族」はプロテスタントで脅かされているキリスト教会、カトリック教会に対して、プロテスタントと戦うための「イエズス会」という新しい修道会を組織したのです。イエズス会の創設者イグナチオ・デ・ロヨラとフランシスコ・ザビエルを選抜して任務を与え、お金を提供して強固な組織にしたのはヴェネチアの「黒い貴族」だったのです。

また、ヴェネチアの「黒い貴族」はカトリックを分裂させて両方をけしかけ、両方に資金を与えカトリック教会の分裂とすごい殺し合いを、背後で操縦したのです。

プロテスタントとカトリックの争いがもっとも激烈に発展したのがドイツで、ドイツでは両派の宗教戦争によって人口が半分程度になってしまったという地域があるくらいです。ヨーロッパのキリスト教会の権威を壊滅的な打撃を与えることによって、ヴェネチアの黒い貴族は、彼らの世界支配を次の段階に進めようとしたわけです。

(『[るいネット](#)』)